

「第 19 回 日本・サウジアラビアビジネスカウンシル」をリヤドで開催 (2025 年 1 月 12 日)

2025 年 2 月 5 日

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは 1 月 12 日、サウジアラビア商工会議所連盟と共に、「第 19 回 日本・サウジアラビアビジネスカウンシル（以下、日サ BC）」をサウジアラビアの首都リヤドで開催しました。本会議は、両国間の投資、技術移転、貿易、人材開発など幅広い経済協力を促進するため、両国の民間セクター間での人的交流、情報交換、意見交換を行う枠組みで、共同議長は日本側は今井誠司氏、サウジアラビア側はターリク・アル＝カフタニ氏が務めています。今回は、2019 年以來 5 年ぶりの開催となり、武藤容治経済産業大臣、ハーリド・アル＝ファーレフ投資大臣が出席されたほか、約 150 名以上が参加しました。

開会のご挨拶

武藤大臣は、日本とサウジアラビアの更なる協業を促すため「日・サウジ・ビジョン 2030」と日サ BC との連携の必要性を指摘し、今回取り上げた GX や産業用 AI などの新たな技術を含め、双方の知見を共有することで新たな協業の可能性を見出すことへの期待を述べました。

アル＝ファーレフ大臣は、二国間の関係強化と経済協力の推進における日サ BC と当センターの役割の重要性を強調するとともに、サウジと日本の協力は、再生可能エネルギー、自動車産業、バイオテクノロジー、金融サービス、人工知能、ヘルスケア、水、ゲームなど、幅広い分野に拡大していることを強調しました。

今井共同議長は、日サ BC が両国の民間企業同士の相互理解が深め、ビジョンを進めるような具体的な協力に繋がることを期待すると述べ、今後も双方が関心の高い産業分野について対話をし、より活発な交流を促進する意向を示しました。

アル＝カフタニ共同議長は、重工業、石油化学、半導体、電子ゲーム、教育、観光、スポーツ、エンターテインメント、農業、食品、繊維、メディアなど多岐にわたる分野において、サウジアラビアが戦略を有しており、共同投資の



(左から) 今井共同議長、武藤大臣、アル＝ファーレフ大臣、アル＝カフタニ共同議長

機会を創出することが重要と述べ、日本企業に向けて、サウジアラビアが提供するインセンティブの活用を呼びかけました。

日本企業 4 社によるプレゼンテーション

本会議では、日本企業 4 社が以下のテーマでプレゼンテーションを行いました。

■ 「日本の経済概況」

みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)調査部主席エコノミスト武内浩二氏が、日本経済の動向や米中関係の緊張が日本経済に与える影響等について解説しました。



みずほリサーチ&テクノロジーズ・武内浩二氏
講演の様子

■ 「AI 推進企業の紹介」

横河電機(株)横河サウジアラビア Process Solution Division エンジニアリングマネージャー新福敬介氏が、AI 技術を活用した同社のプラント制御やオペレーションに関する事例を紹介しました。

■ 「Green Transformation (GX)」

(株)ちとせ研究所 Founder 兼 CEO 藤田朋宏氏が、二酸化炭素を活用して微細藻類を培養し、藻類由来のバイオ燃料生産の取り組みについて説明しました。

■ 「スタートアップの GX 関連事業」

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター(株)ディレクター・中東事業総支配人 原田高政氏が、日本のスタートアップ 5 社 (EF Polymer(株)、アクプラント(株)、WOTA(株)、(株)3DC、(株)JEPLAN) による食糧・農業、水処理、クリーンエネルギー、グリーンケミカル、リサイクル技術など GX 関連プロジェクトを紹介しました。

閉会と交流

会議後に、両共同議長による記念品の交換が行われました。また、休憩時間には日本企業やサウジアラビアの民間企業、投資省や当センターの参加者間で活発な意見交換が行われました。

日・サウジ・ビジョン 2030 閣僚ラウンドテーブル

その後、同じ会場にて「日・サウジ・ビジョン 2030 閣僚ラウンドテーブル」が開催されました。同会合においては、日サ BC 会合開催にあたって日本側の要望が強かったグリーン・ショアリングや脱炭素などについて紹介が行われました。



記念品の交換

Qiddiya 視察ツアーを実施

1 月 13 日、日サ BC のサイドイベントとして、参加者を対象に複合型大規模エンターテインメント都市「Qiddiya

(キッディーヤ)]の視察ツアーを実施しました。

Qiddiya は、首都リヤドの西 45km に位置し、350 平方キロメートル超の敷地内にテーマパーク、リゾート施設、スポーツ施設、カルチャー・エンターテイメント施設、住宅施設などを建設する計画が進められています。このプロジェクトは、サウジアラビア政府の「ビジョン 2030」の象徴的な事業の一つで、50 万人以上の居住者と 30 万人以上の雇用創出を見込んでいます。

ツアーではまず、Experience Center と呼ばれるホールで動画による施設の概要説明を受けた後、2025 年中に開業予定の Six Flags と AquArabia の建設現場を中心に、大型バスで視察しました。車中では Qiddiya 専属ガイドによる解説があり、想像を超えた施設規模に、参加者からは感嘆の声が断続的に上がりました。Qiddiya のアニメワールド地区には、50 万平方メートル超の面積を持つ日本のアニメ「ドラゴンボール」のテーマパークも建設予定です。

現在、公式発表されているのはドラゴンボールテーマパークのみですが、他にも 8 つの IP (Intellectual Property) テーマパークを開発予定とのこと。

中東協力センターは、引き続き経産省および投資省と協力し、両国の貿易および産業分野における経済協力・投資のより一層の促進・強化を図るため、二国間における経済活性化を支援してまいります。

以 上